

公開講座

名古屋外国語大学オープンカレッジ

教養講座・言語講座

2026年度 秋期

開講
期間

2026年 9月24日(木) - 12月25日(金)



名駅キャンパス(サテライト)内 WLALi(ギャラリー)図書室

名古屋外国語大学 名駅キャンパス(サテライト)

講座一覧



■教養講座

番号	科目名	担当者	開講曜限	回数	受講料 (税込)
C1	イタリアへ行く前の美術と文化の予備知識	桑原 恒和	月曜6限	10回	13,800円
C2	原始仏典の思想—相応部経典を読む—	湯谷 祐三	月曜6限	10回	13,800円
C3	概念と知覚の哲学：エピステモロジー入門 II	上西 晃生	火曜6限	10回	13,800円
C4	現代イギリスの形成 —あなたも知らない（かもしれない）イギリス史	岡田 新	水曜5限	10回	13,800円
C5	外国語の習得を考える —外国語教師の基礎知識として—	坂本 正	木曜6限	10回	13,800円
C6	From Anime to X Japan: Exploring Japanese Pop Culture	ガムゼ・ケツレ	金曜5限	10回	13,800円
C7	ネム船長の哲学塾 目からウロコの宗教学入門…… アシタカがシシ神の首を「人の手でお返し」する理由	根無 一信	金曜5限	10回	13,800円



■言語講座

番号	科目名	担当者	開講曜限	回数	受講料 (税込み)
L1	中国語 入門（2）	周素芬（シュウ・ソウフン）	月曜6限	10回	13,800円
L2	タイ語 入門（2）	寺田 ダラボン	月曜6限	10回	13,800円
L3	DEI and Today's Japan: Work, Family, and Society	藤沼 美沙	火曜5限	10回	13,800円
L4	TOEIC® L&R 750点突破対策	矢津 裕子	火曜5限	10回	13,800円
L5	少し学んだ方のイタリア語 初中級（2）	アナスタージャ・ブンドック	火曜6限	10回	13,800円
L6	韓国語 入門（2）	李惠敏（Lee hyemin）	火曜6限	10回	13,800円
L7	英検準1級・2級対策	矢津 裕子	火曜6限	10回	13,800円
L8	フランス語 入門（2）	ジェローム・パク	火曜6限	10回	13,800円
L9	Learning Critical Thinking Skills through English Communication	ベッキー・アルプ	水曜5限	10回	13,800円
L10	トルコ語 入門	ガムゼ・ケツレ	水曜5限	10回	13,800円
L11	Global English for Better Conversations and Connections	マージョリー・リズエロ	水曜5限	10回	13,800円
L12	英国ポップス50年史で学ぶリスニング・英文解釈	橋尾 晋平	水曜6限	10回	13,800円
L13	スマホの中のリアル英語：「バズ」動画とミームで 学ぶ現代の英語とグローバル・トレンド	今井 康貴	水曜6限	10回	13,800円
L14	中国語 初級（2）	周素芬（シュウ・ソウフン）	木曜6限	10回	13,800円
L15	始めたばかりのイタリア語 初級（2）	アナスタージャ・ブンドック	金曜6限	10回	13,800円
L16	スペイン語 初中級（6）	中川 智彦	金曜6限	10回	13,800円
L17	ウクライナ語 入門（2）	テチヤナ・サイエンコ	土曜2限	10回	13,800円
L18	歌と詩でよむ「ロシア」の世界—よんで、うたって、 深めよう	杉山 真央	土曜2限	10回	13,800円
L19	ポルトガル語への第一歩②：ブラジル文化をことば で感じる	ジマス・ハダマ・ パトリシア	土曜2限	10回	13,800円
L20	Improving Intercultural Communication Skills in English (Part 2)	宇治谷 映子	土曜2限	10回	13,800円
L21	Mastering English through communicative tasks	ガブリエル・ミサカ	土曜2限	10回	13,800円
L22	タイ語 初中級（2）	寺田 ダラボン	土曜2限	10回	13,800円

※受講料にテキスト代は含まれません。



イタリアへ行く前の美術と文化の予備知識

C1・月曜6限

桑原 恒和 (10回)

教材：毎回、コピーを配布します
必要とされるもの：筆記用具

①9/28、②10/5、③10/19、④10/26、⑤11/2、⑥11/9、⑦11/16、⑧11/30、⑨12/7、⑩12/14 (予備日：12/21)

◆講師プロフィール

桑原 恒和 (クワハラ ツネカズ)
 日本大学芸術学部美術学科卒、
 日本大学芸術学部芸術研究所修了、
 イタリア・フィレンツェ美术学院 (アカ
 デミア) 卒 ディプロマ (芸術・彫刻)
 取得
 名古屋外国語大学、名古屋芸術大学、
 名古屋文化学園保育専門学校、
 南山エクステンション・カレッジ、
 角川ドワンゴ学園 N 高等学校 講師
 イタリア語、西洋美術史、美術実技指導、児童絵画法



◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

Ciao! イタリアは芸術の国です。そこでは連続的に神業の様な作品を観ることが出来、真に美術鑑賞にどっぷりと浸ることも出来る場所です。そこでこの講座は、これからイタリアへと旅立つ前の予備知識として、ルネサンスの作品を中心に取り上げ、その前後、そして時には近代や現代の作家の作品とも比較しつつ、社会や宗教観の変化を踏まえた表現活動の発展過程をゆっくりと見て行きます。講師は日本の美大を卒業後、イタリアのトリノとフィレンツェのアカデミア (美术学院)、そしてアメリカ・ニューヨーク最古の美術学校ザ・アート・スチューデント・リーグで学んだことから、例えばマンハッタンに響き渡るサイレンの音を聞きながらメトロポリン・ミュージアムの壁に掛かる中世・ルネサンス絵画を観る様な感覚と、あるいはフィレンツェ郊外の自分以外、誰も居ないコレクションのなかで、ルネサンス期の清楚な女性を模った陶器のレリーフと二人きりになる様な感覚を皆さんに紹介したいです。イタリア美術を内側からと外側から、時間を飛び越えて、その魅力に触れましょう。随時、中世のキリスト教絵画や彫刻へと入る前に、比較出来る様、講師が用意した近代や現代の作家と作品も取り上げ、あわせてイタリア文化についても紹介して行きます。A presto!

◆講座内容

- 第1回 ビザンチン、ロマネスク、ゴシック、そしてチマブーエとジョット (プロト・ルネサンス)
 - 第2回 ドッチョからスイモーネ・マルティニ (シエナ派・国際ゴシック様式について)
 - 第3回 ブルネッレスキとギベルティ、ドナテッロとマザッチオ (初期ルネサンス)
 - 第4回 ロッピア兄弟、パオロ・ウッチェーロ、フラ・アンジェリコとフィリッポ・リッピなど
 - 第5回 ピエーロ・デッラ・フランチェスカ、アンドレア・デル・カスターニョ、ジョバンニ・ベッリーニ (それぞれの表現方法)
 - 第6回 サンドロ・ボッティッチェリ (フィレンツェの栄枯盛衰)
 - 第7回 ヴェロッキオとギルランダーイオ (当時のフィレンツェ市民の好みに応える大工房の仕事)
 - 第8回 レオナルド・ダ・ヴィンチ (盛期ルネサンス・三巨匠の時代・職人からアーティストへ)
 - 第9回 ミケランジェロ・ブオナローティ (様式の変化、マニエリスムの予兆)
 - 第10回 ラファエッロ・サンツィオ (古典主義の確立)
- などを予定しており、この授業は週に一度、素晴らしい作品たちと過ごし、それについて感想を述べたり、質問したりする時間となります。そして将来、ウフィツィ美術館、アカデミア美術館、システーナ礼拝堂などを訪れる際の予備知識と成る事を目指します。

◆自己紹介

この作品は、私が NY の美術学校で描きました。頭頂部の形が真っ平なのは、紙がクリップで留められ、巻き上げられていたからです。クラスの先生は、もうイタリア語を話せないイタリア系アメリカ人の方で、フィレンツェのアカデミアから直に来て、イタリア人風の英語を話す私にとっても親しみを持ってくれました。この学校は、大戦中までアメリカの画壇の第一線で活躍した国吉康雄氏が教えていた所であり当時、彼は敵性国民として強制収容所へと送られるところでしたが、他の教員たちがそれに反対し、彼を守り切った逸話が残っています。そして学生たちが働く食堂では、画家アンリ・マティスの元モデルだったと言う、エレガントな老婦人が客として来ていました。又、「刑事コロンボ」の役者ピーター・フォークもふらりとデッサンしに来る所でした。そして何より20世紀を代表する女性画家ジョージア・オキーフが、アート・スチューデント・リーグ派の一員として活躍していたことも誇らしいです。私は午後からのドロ잉・クラスへと通う前に毎回、午前中はメトロポリタン美術館へ行き、黄金比など計算の行き届いた古代ギリシア彫刻の良さと、逆に自然発生的なエネルギーに満ちたアフリカなどのプリミティブ・アートの良さを理解するよう努めていました。すると何かこの世界、この時代とコミットしているような気がして、幸せに通学していました。



原始仏教の思想—相応部經典を読む—

C2・月曜6限

湯谷 祐三（10回）

教材：教科書は使わない

①9/28、②10/5、③10/19、④10/26、⑤11/2、⑥11/9、⑦11/16、⑧11/30、⑨12/7、⑩12/14（予備日：12/21）

◆講師プロフィール

湯谷 祐三（ユタニ ユウゾウ）
名古屋大学修士
名古屋外国語大学非常勤講師
国文学・仏教学

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

仏教思想はそれ自体の高度な哲学性だけでなく、經典類が漢訳されて漢字文化圏に伝播し影響を与えたという点で、日本人にとって重要な思想となっている。本講では、仏教史の初期に成立したとされる經典群を読み、仏教思想の原初形態を把握し、それがどのように我々の大乘仏教に接続していくのかを考えたい。前期は岩波文庫版の中村元氏訳のテキストを使用した。後期は、増谷文雄氏訳の筑摩書房版『阿含經典』を取り上げる。これは、原始仏典の中でも古いとされる「相応部」を中心に訳出されたものである。

◆講座内容

- 第1回 詩（偈）のある經典群（1）
 - 第2回 詩（偈）のある經典群（2）
 - 第3回 詩（偈）のある經典群（3）
 - 第4回 詩（偈）のある經典群（4）
 - 第5回 因縁相応（1）
 - 第6回 因縁相応（2）
 - 第7回 蘊相応（1）
 - 第8回 蘊相応（2）
 - 第9回 中量と長量の經典群より（六師外道他）
 - 第10回 ブッダの死と經典の結集
- ※一部変更の場合もあります

概念と知覚の哲学：エピステモロジー入門Ⅱ

C3・火曜6限

上西 晃生（10回）

教材：教科書は使わない

①9/29、②10/6、③10/13、④10/20、⑤10/27、⑥11/10、⑦11/17、⑧11/24、⑨12/1、⑩12/8（予備日：12/15）

◆講師プロフィール

上西 晃生（ウエニシ アキオ）

哲学博士（PhD. Philosophy）：ブリュッセル自由大学（ULB）

非常勤講師（NUFS、慶應義塾大学、豊橋技術科学大学、名古屋経済大学、名古屋製菓専門学校）

哲学（英語圏認識論／フランス語圏認識論）

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

私たちは「哲学をする」というフレーズから、どのような行いを思い浮かべるでしょう？「物思いに耽る」であったり「解きようのない問題についてを考える」などの、途方もない無駄な作業を繰り返すというような漠としたイメージを思い浮かべる人が大半なのではないでしょうか。

しかし哲学には「概念」という固有の道具があります。哲学は時代と共に、私たちの「生」や人類の生存にとって重要な「概念」を、社会の実現や個人の生き方に貢献できるように創造し、その改善を繰り返して来ました。そういった道具としての「概念」は元来、個物の抽象とその内容の捨象により形成され、言語と共同で、ある一定の普遍性を提示するものです。しかし、どのようにその「概念」は時代と共に創造され、またどのように自らを改善させ続けているのでしょうか？そして私たちに世界を映し出す「知覚」とはどのような関係にあるのでしょうか？私たちは、それらの問いに関して今一度、哲学的アプローチと心理学系（社会心理学・発達心理学・認知科学）アプローチから再考する必要があります。20世紀初頭の分析哲学は「言語論的転回」と共に論理実証論と日常言語論へと分岐し、命題や発話の「真／偽」や「有意味／無意味」を規準に展開されました。そして1970年代以降、そのような「知覚」への問いは分析哲学が「心の哲学」という新しい領域へと進展する一つの要因となりました。本講義においても、フランス・エピステモロジーの介入が重要なものとなり、現代における「心の哲学」との関わりに着目しながら進められればと思います。そして実際的な実験や「思考実験」と呼ばれるものなどへもイメージが持てるようになるということを目標に講義へ臨んで頂けたらと思います。

◆講座内容

第1回：概念と知覚

第2回：G. フレーゲによる「概念の哲学」

第3回：B. ラッセルと論理実証主義

第4回：日常言語学派、P.F. ストロウソンの記述形而上学、G. エヴァンスによる「直示的同定」（新フレーゲ論Ⅰ）

第5回：知覚内容の概念性と非概念性（新フレーゲ論Ⅱ）

第6回：J. ピアジェとJ. カヴァイエスによる「概念の哲学」（フランスにおける位相Ⅰ）

第7回：M. ゲルーとG. グランジェによる「メタ概念の哲学」（フランスにおける位相Ⅱ）

第8回：概念の発達心理学的アプローチ（L. ヴィゴツキー、S. ケアリー、E. スペルキ）

第9回：心の哲学における概念と知覚（J. フォーダー、R. ミリカン、A. ゴルドマン）

第10回：メタ認知の哲学、動物認知科学、そして来たるべき「概念と知覚の哲学」の為に（春期に扱った「知識の哲学」をより具体的に深化させつつ、可能な限り平明にご説明できればと思います）



現代イギリスの形成—あなたも知らない（かもしれない）イギリス史

C4・水曜5限

岡田 新（10回）

教材：パワーポイントを使います

①9/30、②10/7、③10/14、④10/21、⑤10/28、⑥11/4、⑦11/11、⑧11/18、⑨11/25、⑩12/2（予備日：未定）

◆講師プロフィール

岡田 新（オカダ シン）
早稲田大学政治経済学部政治学士
名古屋大学法学研究科修士
名古屋外国語大学英米語学科教授
イギリス現代政治史



◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

イギリスは日本人にはなじみの深い同じ島国で、立憲君主制をもつ似た者同士。近代化の目標となっていた世界の最先進国でもあり、紅茶やパブなど、イギリス出自の身近なものも多い。しかしそうしたイメージにもかかわらず、イギリスのたどってきた歴史には、日本人の「常識」とは異なる点も少なくない。この講座では、そうした点にスポットを当てながら、現代イギリスの形成の道筋をたどってみたい。

◆講座内容

- 第1回 四つの国 — Disunited Kingdom?
- 第2回 宗教改革とピューリタン
- 第3回 国王殺しと国王の追放
- 第4回 スコットランドの反乱、対仏100年戦争
- 第5回 産業「革命」の光と影
- 第6回 アイルランドとの格闘
- 第7回 第一次大戦と「総力戦」
- 第8回 戦間期と第二次世界大戦—勝利の鍵
- 第9回 戦後改革—福祉国家と帝国の喪失
- 第10回 サッチャーとブレグジット

◆自己紹介

イギリス現代政治史を専門にしている岡田です。文部省在外研究員として若いころオックスフォードに留学。イギリスの政治史—特に選挙や政治思想を研究しています。

外国語の習得を考える—外国語教師の基礎知識として—

C5・木曜6限

坂本 正（10回）

教材：教科書は使わない

①9/24、②10/1、③10/8、④10/15、⑤10/22、⑥10/29、⑦11/5、⑧11/12、⑨11/19、⑩11/26（予備日：12/3）

◆講師プロフィール

坂本 正（サカモト タダシ）
米国ボストン大学大学院博士（教育学）
名古屋外国語大学名誉教授
日本語教育学、第二言語習得論

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

人は外国語をどのように習得していくのであろうか。本講義では、これまでの自らの外国語学習の経験を振り返るとともに、代表的な言語習得理論を概観する。そのうえで、言語習得という現象を多角的な視点から捉え直し、得られた知見を自身の外国語学習および言語教育の実践に活かすことを目標とする。外国語（日本語を含む）の習得を目指す学習者、および言語教育に携わる者にとって、有益な示唆を得られる内容となっている。また、2024年に創設された国家資格「日本語教員試験」の受験を目指す者にも資する講義内容となっている。

◆講座内容

- 第1回：オリエンテーション、第一言語習得の特徴
- 第2回：言語習得の理論（1）：行動主義的な考え方
- 第3回：言語習得の理論（2）：生得主義的な考え方
- 第4回：言語習得の理論（3）：相互交流主義的な考え方
- 第5回：対照分析仮説から中間言語仮説まで：その1
- 第6回：対照分析仮説から中間言語仮説まで：その2
- 第7回：Krashen（1977）のモニター理論：五つの仮説
- 第8回：アウトプットの仮説と認知的アプローチ
- 第9回：第二言語習得における個人差（1）：
知性、適性、学習スタイル、性格
- 第10回：第二言語習得における個人差（2）：
動機づけ、ビリーフ、開始年齢と臨界期

◆自己紹介

1977年から日本語教育の世界に入り、そろそろ50年になります。この間何人の方に日本語を教えてきたか正確にはわかりませんが、米国そして日本でかなりの数の日本語学習者に日本語を教えたと思います。日本語教育という漢字を使いますが、教えながら実は学ぶこともたくさんあって、日本語教育と言うよりも日本語共育、共に学び、育む、と言う方が現状に合っているかなと思います。いくつになっても、成長を止めない、学びを止めない人、チャレンジ精神を持ち続ける人でありたいなあと考えています。

From Anime to X Japan: Exploring Japanese Pop Culture

C6・金曜5限

Gamze Kelle (10回)

教材：教科書は使わない

①9/25、②10/2、③10/9、④10/16、⑤10/23、⑥10/30、⑦11/6、⑧11/13、⑨11/20、⑩11/27 (予備日：12/4)

◆講師プロフィール

Gamze Kelle (ガムゼ・ケッレ)
Nagoya University, Master's Degree, Graduate School of Humanities
Full-time EFL Lecturer, NUFS
Japanese culture, visual-kei

◆授業の使用言語

英語

◆講座の趣旨・目標

This course is a broad introduction to Japanese popular culture. We will look at anime, manga, video games, music, fan communities, and more. Together we will explore how Japan creates and shares its popular culture with the world, and how global audiences enjoy, adapt, and remix it. Each week focuses on a different topic, with a mix of short lectures, screenings, demos, and group discussion. This course is for everyone, from long-time fans to complete newcomers. The recommended English level is B1, but lower levels are also welcome as long as you are willing to join in and share your ideas.

◆講座内容

- Week 1 Introduction — What is “Japanese pop culture,” really?
- Week 2 Manga — from postwar storytelling to a global reading culture
- Week 3 Anime — how animation became Japan's signature art form
- Week 4 Music I — J-Pop and the idol industry
- Week 5 Music II — Visual Kei and rock rebellion (X Japan and beyond)
- Week 6 Fashion & street subcultures — Harajuku, Lolita, gyaru
- Week 7 Video games — from arcades to otaku gaming culture
- Week 8 Fan communities — cosplay, doujinshi, and the ethics of fandom
- Week 9 New media — VTubers and the future of performance
- Week 10 Global reception — how the world remixes Japan, and Japan remixes back

*Content may be adjusted slightly based on participants' interests.

◆英語講座の対象レベル

This course is recommended for learners from intermediate level upward, roughly CEFR B1 (TOEIC score around 500) and above. Learners with higher proficiency are also welcome. Finally, learners with lower English skills are also welcome as long as they are willing to participate in the discussions, and share their opinions.

◆自己紹介

Hello! My name is Gamze.
I am very much interested in Japanese popular culture, particularly in visual-kei.
I have studied visual-kei fan culture for my Master's studies. Right now, I am working on my PhD, again focusing on visual-kei.
My main goal is to create a warm learning environment where everyone actively discusses various pop-culture-related topics, and share their opinions in English.
I look forward to having you in this class!



ネム船長の哲学塾 目からウロコの宗教学入門……アシタカがシシ神の首を「人の手でお返し」する理由

C7・金曜5限

根無 一信（10回）

教材：教科書は使わない

①9/25、②10/2、③10/9、④10/16、⑤10/23、⑥10/30、⑦11/6、⑧11/13、⑨11/20、⑩11/27（予備日：12/4）

◆講師プロフィール

根無 一信（ネム カズノブ）
京都大学博士（人間・環境学）
名古屋外国語大学 現代国際学部
国際教養学科 准教授
哲学・宗教学・倫理学



◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

映画「もののけ姫」の終盤、撃ち落とされた自分の首を求めるシシ神に対して、主人公アシタカが「人の手で返したい」と言ってサンとともに首をシシ神に返します。このクライマックスシーンには、命というものに対する宗教思想が集約されているように思われます。

本講座では「宗教とは何か」という宗教学の根本問題や様々な個別テーマについて、哲学や神学などの知見にも目配りして論じながら、最終的に「もののけ姫」を取り上げて、人間・文明・宗教について考察したいと思います。

◆講座内容

- 第1回 宗教と多文化共生……「聖書」はうさんくさい？
- 第2回 宗教の多様性……宗教という言葉聞いてあなたが思い浮かべるものは？
- 第3回 宗教の難しさ……なぜ宗教というものはとらえどころがないのか？
- 第4回 宗教の定義……なぜ推し活は宗教に似ているのか？
- 第5回 宗教の比較……日本と西洋の決定的な違いは何か？
- 第6回 テーマ別深掘り① 無神論……無神論者とは何をする人のことか？
- 第7回 テーマ別深掘り② 日本宗教史……なぜ日本人は無宗教なのか？
- 第8回 テーマ別深掘り③ 運命論……神が定めた運命に逆らうことは可能か？
- 第9回 テーマ別深掘り④ 聖地……「アニメの聖地」と「歴史ある聖地」は何が違うのか？
- 第10回 テーマ別深掘り⑤ 映画「もののけ姫」……アシタカがシシ神の首を「人の手で返す」深い理由

◆自己紹介

1979年大阪生まれ大阪育ち。高校卒業後、無人島生活や八重山諸島放浪（18歳）、インド放浪（19歳）などを経て、徒歩と野宿で日本縦断（20歳）。その後、独学して京都大学へ進み、哲学研究者を志す（24歳）。2016年に哲学研究で博士号取得。特技は素潜り漁、サッカー、循環呼吸。趣味はキントレ、三線演奏、ハードロックとブルース鑑賞、料理（根無家の炊事担当）。



中国語 入門 (2)

L1・月曜6限

周素芬 (10回)

教材：教科書 (購入必須)

智能汉语スマートチャイニーズ入門編 ISBN: ISBN:978-4-255-45419-1 2750円 (税込)

①9/28、②10/5、③10/19、④10/26、⑤11/2、⑥11/9、⑦11/16、⑧11/30、⑨12/7、⑩12/14 (予備日：12/21)

◆講師プロフィール

周素芬 (シュウ・ソウフン)
名古屋学院大学大学院経済経営政策専攻修士
名古屋外国語大学中国語講師
中国語 (通訳)

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

授業では教科書の本文や例文を積極的に声に出し、単語表現を覚えることがなく、自然に口をついて出てくるまで繰り返し練習します。目標として、少しずつ自分の言葉として使えるように。

◆講座内容

- | | | |
|------|------|----------------------------------|
| 第1回 | 第6課 | 本文の説明、文法のポイント (数字と金銭の言い方) |
| 第2回 | 第6課 | 本文の朗読、練習問題 |
| 第3回 | 第7課 | 本文の説明、文法のポイント (助動詞“能”と“会”の用法) |
| 第4回 | 第7課 | 本文の朗読、練習問題 |
| 第5回 | 第8課 | 本文の説明、文法のポイント (現在進行形、“就”と“才”の用法) |
| 第6回 | 第8課 | 本文の朗読、練習問題 |
| 第7回 | 第9課 | 本文の説明、文法のポイント (結果補語と“把”の構文) |
| 第8回 | 第9課 | 本文の朗読、練習問題 |
| 第9回 | 第10課 | 本文の説明、文法のポイント (存現文と受け身文) |
| 第10回 | 第10課 | 本文の朗読、練習問題 |

タイ語 入門 (2)

L2・月曜6限

寺田 ダラポン (10回)

教材：参考書 (購入必須ではない) 中山玲子「入門タイ語の教科書」語研 ISBN: 978-4-87615-387-9 2970円 (税込)

①9/28、②10/5、③10/19、④10/26、⑤11/2、⑥11/9、⑦11/16、⑧11/30、⑨12/7、⑩12/14 (予備日：未定)

◆講師プロフィール

寺田 ダラポン (テラダ ダラポン)
名古屋外国語大学 (タイ語・非常講師)
愛知大学 (タイ語・非常講師)
教育・数学



◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

初めてタイ語を学ばれる方、もう一度基礎文法から復習をされた方を対象にしたクラスです。分かりやすい教材を使って、ゆっくりと丁寧に文法を説明していきます。毎回文法を説明した後で会話練習を行います。声に出して、耳で聴いて、繰り返し言って、書いて、覚えて使ってみてください。たくさんのタイ語に触れることで、楽しく実践的にタイ語を学びましょう。タイ語検定試験5級、4級を合格ができるように指導します。

◆講座内容

- | | |
|------|-----------------------|
| 第1回 | 私はチェンマイへ行きます。 |
| 第2回 | これは私の時計ではありません。 |
| 第3回 | もうご飯を食べましたか |
| 第4回 | 私はさらに何日かバンコクにいます。 |
| 第5回 | 昼休みは正午から12時45分までです。 |
| 第6回 | 私の友達は日本語を話すことが少しできます。 |
| 第7回 | 私は車を運転したくありません。 |
| 第8回 | タイのほうが日本より暑いです。 |
| 第9回 | タイ語とラオス語は似ています。 |
| 第10回 | 来週、試験があると聞きました。 |

◆自己紹介

タイの大学 (教育・数学) を卒業し、5年間 The University of The Philippines (Diliman) に留学、その時 America Airforce にタイ語の講師を務めました。33年前 (1993年) に、日本へ来ました。2001年から三重県、2025年から愛知県、法律・タイ語通訳人に務めています。



DEI and Today's Japan: Work, Family, and Society

L3・火曜5限

藤沼 美沙 (10回)

教材：教科書は使わない

①9/29、②10/6、③10/13、④10/20、⑤10/27、⑥11/10、⑦11/17、⑧11/24、⑨12/1、⑩12/8 (予備日：12/15)

◆講師プロフィール

藤沼 美沙 (フジヌマ ミサ)
Master (Higher Education), University of Mississippi
Full-Time Lecturer, Nagoya University of Foreign Studies
Intercultural Communication, Diversity, Equity, and Inclusion (DEI), Identity Development, Study Abroad



◆授業の使用言語 英語

◆講座の趣旨・目標

This course builds on the spring term class, Understanding Identity and Inclusion in English, and shifts the focus from personal identity to contemporary Japanese society. This course aims to provide a welcoming space to use ideas of diversity, equity, inclusion, and belonging to look more closely at contemporary Japan. Participants will move from personal identity and everyday experiences toward broader questions about fairness, opportunity, and social change in today's society. Through short inputs, stories, discussion, and reflection, they will explore how work, family, education, media, disability, migration, and law can shape who feels included or excluded.

The course encourages participants to connect these social issues to their own lives at school, at work, and in their communities, and to consider realistic, small steps toward more inclusive practices in their own contexts.

◆講座内容

Classes will focus on real-life topics, using many discussions, pair work, small group tasks, and reflection activities. The exact themes may change depending on participants' interests and questions.

Topics may include:

- Key ideas of identity, inclusion, and belonging.
- Japanese workplace culture, hierarchy, and fairness.
- Gender roles, care, and changing family life.
- Foreign residents, migration, and "global talent."
- Youth, education, pressure, and opportunity.
- Disability, accessibility, and mental health.
- Media, social media, and representation.
- Law, rules, and social change in Japan.
- Community, allyship, and small actions for inclusion.
- Creating personal or group "next steps" for change.

◆英語講座の対象レベル

This course is recommended for learners from intermediate level upward, roughly CER B1 (TOEIC score around 500) and above. Learners with higher proficiency are also welcome.

◆自己紹介

Hello! My name is Misa. I have studied abroad myself and later supported people before and after their time overseas, so questions about identity, difference, and belonging are very close to my heart. These experiences led me to focus on intercultural communication, study abroad, and diversity, equity, and inclusion (DEI). In this course, I hope to create a warm and reflective space where participants can share experiences, discover new perspectives, and practice expressing their ideas in English together.

TOEIC® L&R 750点突破対策

L4・火曜5限

矢津 裕子（10回）

教材：教科書（購入必須） 公式 TOEIC® Listening&Reading 問題集12 ISBN: 978-4906033775 3630円（税込）

①9/29、②10/6、③10/13、④10/20、⑤10/27、⑥11/10、⑦11/17、⑧11/24、⑨12/1、⑩12/8（予備日：12/15）

◆講師プロフィール

矢津 裕子（ヤヅ ユウコ）
甲南女子大学 英文学学士
カリフォルニア大学アーバイン校 TESOL 修了
複数の大学、専門学校、企業研修、市民講座等にて英語資格試験対策・英会話等の講座を担当。ビジネス通訳、通訳ガイド

◆授業の使用言語

英語、日本語

◆講座の趣旨・目標

就職活動の武器であり、多くの企業が昇格条件とする TOEIC® L&R のスコアアップを目指します。最新の傾向を知ることができると同時に、各パートごとの対策は勿論、各パートの中の頻出問題の種類ごとの対策に取り組むため、試験の特徴や傾向、攻略法をたくさん学ぶことができ、大幅スコアアップも目指せます。TOEIC® L&R に出てくる表現は英語を使うビジネスピープルの実際の表現ばかり。アウトプットトレーニングを行い、リスニング力、スピーキング力も鍛え、仕事や海外旅行でそのまま使えるようになることを目指します。

◆講座内容

第1回 オリエンテーション 過去の結果分析
第2回 Part 1
第3回 Part 2
第4回 Part 5
第5回 Part 5
第6回 Part 6
第7回 Part 3
第8回 Part 4
第9回 Part 7
第10回 全パートおさらい

◆英語講座の対象レベル

TOEIC® L&R 現在のスコアが400点以上が望ましい
TOEIC® L&R を受けたことがない場合は英検2級程度が望ましい



少し学んだ方のイタリア語 初中級 (2)

L5・火曜6限

アナスタージャ・ブンドック (10回)

教材：教科書（購入必須） オペラ・プリマ2 ISBN: 978-4-255-55320-7 2860円（税込）
事前に丸善、Amazon等で各自、御購入下さい。必要とされるもの：筆記用具

①9/29、②10/6、③10/13、④10/20、⑤10/27、⑥11/10、⑦11/17、⑧11/24、⑨12/1、⑩12/8（予備日：12/15）

◆講師プロフィール

Anastazija VUNDUK

(アナスタージャ・ブンドック)

イタリア国立フィレンツェ美術学院(アカデミア) 絵画科、Irene di Spilimbergo 卒
イタリア政府より伝統工芸モザイク画技法のプロ資格を取得。イタリアを代表するモザイク作家 Giulio Candussio 氏に師事し、NYの地下鉄駅グラウンド・ゼロ内に設置されたモザイク壁画等の制作に参加する。

名古屋外国語大学、愛知県立明和高等学校音楽科、南山エクステンション・カレッジに於いてイタリア語講師、中日文化センター栄教室に於いてクロアチア語講師
イタリア語、クロアチア語、イタリア伝統工芸モザイク画技法



◆授業の使用言語

イタリア語と日本語

◆講座の趣旨・目標

Ciao! 本校、学部生の会話クラスで使用する教材は、イタリア語と文化の普及を目的とするイタリアの政府機関であるイタリア文化会館の編集によるものであり、挿絵や写真、付属の映像もとても美しい教科書です。それを基に今期は、これまでの文法事項の復習も行いつつ、間接補語（誰々に、誰々ににとって）+ 非人称動詞の用法、そして間接補語と直接補語（誰々を）の使い分けとして、よくイタリア語検定試験にも出題される、共に「電話する」という意味となる間接補語 + 動詞 telefonare (to telephone) と直接補語 + 動詞 chiamare (to call) についてを理解します。そしてイタリアの20世紀を代表するアーティストとして、未来派のボッチョーニや形而上絵画のデ・キリコなどの紹介の後、我々、君達・あなた方、彼ら・彼女たちの間に於ける「お互い〜し合う」という相互的な意味の再帰動詞の複数の用法を学びます。「君は、何をしている最中?」「夏に外出する時は、何を?」等の会話演習も行い、ゆっくりと楽しく基礎文法事項を、文化の紹介も交えながら学びます。今期で5回目の継続講座ですが、今期から学ばれる方も大歓迎です!一緒に楽しく学びましょう!又、学部生の方々の学び直しにも是非、御活用下さい。A presto!

◆講座内容

毎回、基礎文法事項の分かり易い解説を基に、その応用会話と、練習問題を通して身に付けて行きます。

第1回 教科書の第4課「Ti telefono! 君に電話するね!」の中から、20世紀のイタリア美術の紹介として後のシュルレアリスムに大きな影響を与えた形而上絵画の画家ジョルジョ・デ・キリコやテクノロジーを称賛する前衛芸術でありファシズムに受け入れられた未来派の画家・彫刻家ウンベルト・ボッチョーニ、心の動きを表現する為に瞳を描かなかったモジリアーニ、静物画を通してメッセージを発信するモランディ、二次元の絵画に切り込みを入れ三次元にしたフォンターナなどについて。

第2回 美術館へ行き、作品について意見を言う。「最初に」「〜の後」「後で」「最後に、結局」の言い方。相互的に（何々し合っている）の意味で使われる再帰動詞の複数について。

第3回 イタリアの代表的な広場の紹介。

第4回 教科書の第5課「Che romantico! 何てロマンティックなの!」から愛のメッセージについて。

第5回 「私をどこに連れて行くの?」から直接補語（誰々を〜）の用法。

第6回 「君はどこに居たの?」から直説法・半過去形の用法について。

第7回 「君は何味のジェラートが好き?」

第8回 「我々は彼らに電話しましょう!」から間接補語（誰々に〜）の用法。

第9回 直接補語と間接補語の使い分け。

第10回 今期のまとめ

以上を予定しておりますが、ゆっくりと丁寧に授業を進めます。

◆自己紹介

第二次世界大戦終了まではイタリア王国、次にユーゴスラヴィア、そして現在ではクロアチア共和国領である、イストリア半島先端の町、プーラに在る私の実家の窓からは、世界で4番目に大きい古代ローマの円形闘技場（アリーナ）が見えます。それは唯一、海に面していること（真っ青なアドリア海!）と、今でも大理石で覆われている、とても良いコンディションであることが自慢です。そして私の家が入っている建物の地下から、この古代の闘技場に登場するライオンの通ridorの跡が見つかりました。実際、この町では地下を掘るとすぐに古代文明の遺跡がいく層にも見つかります。それはやはり気候の良さからか、多くの文明が蓄積され、歴史からの磁場を感じさせることにつながっています。夏のバカンスのシーズンには、ヨーロッパ中の人々が集まり、多くのコンサートや演劇が催され、連日その声や音楽がにぎやかに聞こえて来ます。そして時折、響き渡る透き通った教会の鐘の音と共に、街全体が楽しい雰囲気包まれます。

韓国語 入門 (2)

L6・火曜6限

李惠敏 (10回)

教材：教科書は使わない

①9/29、②10/6、③10/13、④10/20、⑤10/27、⑥11/10、⑦11/17、⑧11/24、⑨12/1、⑩12/8 (予備日：12/15)

◆講師プロフィール

李惠敏 (Lee hyemin)
名古屋大学修士
名古屋外国語大学非常勤講師
韓国語教育法教授法

◆授業の使用言語

日本語、韓国語

◆講座の趣旨・目標

少し韓国語の基礎がある方、韓国語入門1の学習をされた方が対象になります。
韓国語入門2では少し韓国語が出来る基で文法の勉強をしながら、単語や文法に接する勉強を通じて少しでも会話ができるように学習を進みます。
文法や会話の勉強だけではなく文化の紹介などを加えることでもっと韓国語に親しくなるように授業を行います。

◆講座内容

- 第1回 初めまして。よろしくお願いします。(自己紹介・平叙文・間接表現)
- 第2回 私は学生ではありません。(否定表現・不能表現・禁止表現)
- 第3回 どこへ行きますか。(道を尋ねる)
- 第4回 誕生日はいつですか。(漢数字・固有数字)
- 第5回 何が好きですか。(現在・過去・未来・回想連体形)
- 第6回 今日天気が良いです。(接続詞)
- 第7回 秋は紅葉が綺麗です。(誘い表現)
- 第8回 この歌聴いたことがあります。(経験の表現)
- 第9回 あの服ちょっと見せてください。(買い物)
- 第10回 初めが肝心だ。(～である体。タメ口表現)

英検準1級・2級対策

L7・火曜6限

矢津 裕子 (10回)

教材：教科書(購入必須) 2026年度版 過去6回全問題集(旺文社) ISBN: 978-4010951064 1980円(税込)

①9/29、②10/6、③10/13、④10/20、⑤10/27、⑥11/10、⑦11/17、⑧11/24、⑨12/1、⑩12/8 (予備日：12/15)

◆講師プロフィール

矢津 裕子 (ヤヅ ユウコ)
甲南女子大学 英文学学士
カリフォルニア大学アーバイン校 TESOL 修了
複数の大学、専門学校、企業研修、市民講座等にて英語資格試験対策・英会話等の講座を担当。ビジネス通訳、通訳ガイド

◆授業の使用言語

英語、日本語

◆講座の趣旨・目標

いまや大学入試には唯一無二、最大の武器となり、取得しない中高生はいないと言われていた実用英語技能検定。英語力アップ、自己啓発のために取得を目指す大人も少なくありません。入試や就活での活用、大学の単位認定や企業内の資格手当の基準とされる2級や準1級の合格を目指します。集団クラスで学びを得た後は各受講者のレベルとスキルに合わせ、徹底的な個人教授をします。2つの級の合同でもご心配不要です。基本的には1次試験対策ですが、リクエストに応じ2次試験対策も扱います。毎回この講座から合格者が出ています。

◆講座内容

- 第1回 オリエンテーション (最新の傾向など)
- 第2回 Writing 意見問題①
- 第3回 Writing 意見問題②
- 第4回 Writing 要約問題①
- 第5回 Writing 要約問題②
- 第6回 Listening 第1部
- 第7回 Listening 第2部
- 第8回 Reading ①
- 第9回 Reading ②
- 第10回 全セクションおさらい

◆英語講座の対象レベル

英検準2級、準2級プラス取得者(英検を受験したことがない場合、TOEIC® L&R 450点以上が望ましい)



言語講座

フランス語 入門 (2)

L8・火曜6限

Jérôme Paccoud (10回)

教材：教科書（購入必須）『パザパ：話せて書けるフランス語入門』三修社 ISBN: 978-4384220537 3080円（税込）

①9/29、②10/6、③10/13、④10/20、⑤10/27、⑥11/10、⑦11/17、⑧11/24、⑨12/1、⑩12/8（予備日：12/15）

◆講師プロフィール

Jérôme Paccoud (ジェローム・パク)
アンジェ大学（言語教授法修士）
名古屋外国語大学准教授
フランス語教育学



◆授業の使用言語

日本語、英語、フランス語

◆講座の趣旨・目標

この講座は初心者を対象とした春期の講座の続きです。この講座ではフランス語の基礎力を習得すると同時に、フランス語話者との日常会話に必要な文化的側面も学びます。

◆講座内容

- 第1回 基礎事項の再確認
- 第2回 第6課：知らせを伝える。
文法項目：動詞 aller/venir, partir の使用を学ぶ
- 第3回 第6課：絵葉書を書く。文法項目：場所の前置詞
- 第4回 第7課：買い物をする。文法項目：動詞 avoir と être
- 第5回 第7課：量を表す。文法項目：比較
- 第6回 第7課：丁寧に尋ねる、比較する。文法項目：部分冠詞
- 第7回 第8課：健康状態を表現する。
文法項目：命令形の作り方
- 第8回 第8課：助言を授ける。文法項目：否定命令文
- 第9回 第9課：旅行の計画を立てる。文法項目：近接未来
- 第10回 第9課：自分の計画について話す。
文法項目：進行形現在

◆自己紹介

私はフランス・グルノーブルの出身です。春期に続いてフランス語を楽しく学ぶ講座です。春期を受講した人でなくても、どこかでフランス語を少しやったことがあり、教科書の6課からついていける人なら大歓迎です。昔フランス語をやって、忘れてしまった人も、この講座でなら楽しくフランス語を勉強できます。

Learning Critical Thinking Skills through English Communication

L9・水曜5限

Becky Alp (10回)

教材：教科書は使わない

①9/30、②10/7、③10/14、④10/21、⑤10/28、⑥11/4、⑦11/11、⑧11/18、⑨11/25、⑩12/2（予備日：12/9）

◆講師プロフィール

Becky Alp (ベッキー・アルプ)
MA in Media and Communication
EFL Lecturer
Cognitive Neuroscience, Intercultural
Communication, Critical Thinking



◆授業の使用言語

英語

◆講座の趣旨・目標

This course is designed to practice English Communication skills through deep thinking and to develop critical thinking skills. The focus is not merely on practicing communication skills but on learning how to think critically about world topics and issues.

◆講座内容

- Weekly schedule is as follows;
- Week 1 - Distinguishing fact from fiction
- Week 2 - Identifying assumptions
- Week 3 - Evaluating evidence
- Week 4 - Detecting bias
- Week 5 - Considering multiple perspectives
- Week 6 - Cause and effect reasoning
- Week 7 - Correlation vs. Causation
- Week 8 - Ethical reasoning
- Week 9 - Constructing arguments
- Week 10 - Reflection and metacognition

◆自己紹介

After finishing her Bachelor's Degree (BA) in Translation and Interpretation, Becky Alp, did her MA in Media and Communication in London, UK. She is currently working as a full-time EFL Lecturer at Nagoya University of Foreign Studies and conducts research in Cognitive Neuroscience of Language Learning.

トルコ語 入門

L10・水曜5限

Gamze Kelle (10回)

教材：教科書は使わない

①9/30、②10/7、③10/14、④10/21、⑤10/28、⑥11/4、⑦11/11、⑧11/18、⑨11/25、⑩12/2 (予備日：12/9)

◆講師プロフィール

Gamze Kelle (ガムゼ・ケッレ)
名古屋大学大学院、修士、人文学研究科
名古屋外国語大学 外国語担当専任講師
ヴィジュアル系、ファン文化

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

初心者の方、トルコ語を少し学ばれた方は対象です。トルコ語での会話スキルが中心で、会話に必要な基礎文法・語彙を練習し、コミュニケーション力を身につけることを目指します。聴解・読書教材を利用し、様々なテーマについて自分の意見・感想を表現できることが目標です。また、さまざまな場面でトルコの文化慣習に触れて、トルコについての知識が深まります。この講義では、パワーポイントを使用し、映像や音声資料を適宜活用します。

◆講座内容

- 第1回 「トルコ語で自己紹介しましょう」挨拶・簡単な自己紹介の言葉、アルファベット
- 第2回 「これは何ですか」指示詞、最初の単語「これはBです」「これは何ですか?」、否定「～じゃありません」
- 第3回 「部屋に何がありますか。」～がある ～がない ～がありますか 数詞
- 第4回 「家族を紹介しましょう」人称の付属語、疑問、否定
- 第5回 「家族を紹介しましょう」所有代名詞と所有接尾辞
- 第6回 「スケジュールについて話す」現在形、疑問、否定
- 第7回 「スケジュールについて話す」時間に関する文の語順
- 第8回 「アドバイスを聞いたり、したりしましょう」義務・必要性の表現、否定
- 第9回 「アドバイスを聞いたり、したりしましょう」義務・必要性の表現、否定 続き
- 第10回 まとめ

Global English for Better Conversations and Connections

L11・水曜5限

Marjorie Resuello (10回)

教材：教科書は使わない

①9/30、②10/7、③10/14、④10/21、⑤10/28、⑥11/4、⑦11/11、⑧11/18、⑨11/25、⑩12/2 (予備日：12/9)

◆講師プロフィール

Marjorie Resuello
(マージョリー・リズエロ)
Master in Development Management
and Governance, University of the
Philippines Los Baños
Lecturer, Department of British and
American Studies
Communication, Governance,
Sustainable development



◆講座内容

The course will provide students with opportunities to practice speaking English. Students will participate in conversations, pair work, group discussions, presentations, and reflection activities. The course will cover active listening, conversation strategies, and intercultural communication. Students will discuss content-based topics such as culture, education, travel, sustainability, technology, global issues, and everyday life.

◆英語講座の対象レベル

English language learners from beginner to advanced level

◆授業の使用言語

英語

◆講座の趣旨・目標

The purpose of this course is to help English language learners develop practical communication skills for academic, professional, and everyday global contexts. The course aims to build learners' confidence in expressing their ideas, listening actively, and interacting with people from diverse cultural backgrounds. Through practical and collaborative activities, learners will strengthen their English communication skills and become more confident, effective, and thoughtful global communicators.

◆自己紹介

Hello! I am Marjorie Resuello. I am from the Philippines and now I live in Japan, where I work as a lecturer in the Department of British and American Studies. In my country, Filipino is the national language, while English is an official language widely used in schools and workplaces. Growing up in a multilingual environment shaped my interest in English, intercultural communication, and global learning. I also enjoy traveling to different places, both domestically and internationally, because it allows me to experience new cultures and perspectives. I appreciate art, culture, and traditional craftsmanship, and I have a particular interest in kimono. I look forward to helping you build confidence, improve your communication skills, and enjoy meaningful conversations in our classes.



英国ポップス50年史で学ぶリスニング・英文解釈

L12・水曜6限

橋尾 晋平 (10回)

教材：教科書は使わない

①9/30、②10/7、③10/14、④10/21、⑤10/28、⑥11/4、⑦11/11、⑧11/18、⑨11/25、⑩12/2 (予備日：12/9)

◆講師プロフィール

橋尾 晋平 (ハシオ シンペイ)
同志社大学博士 (文化情報学)
名古屋外国語大学外国語学部英米語学科講師
英語教育、応用言語学、コミュニケーション学

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

Queen, Elton John, One Direction など時代毎にイギリスの若者たちの心を掴み、ミュージック・シーンを彩ってきた名曲を教材とし、半世紀にわたる英国ポップスの歩みを辿りつつ、英語と英語圏文化への理解を深める講座です。歌詞の一部を聴き取りながら、英語の発音・アクセント・イントネーションの特徴を学び、リスニング力の向上を目指します。また、歌詞の解釈を通して英文法や語彙表現への理解を深めるとともに、楽曲が生まれた時代背景やアーティストのメッセージにも触れながら、英国ポップスの歴史と文化的背景について学んでいただきます。

◆講座内容

- 第1回 ガイダンス・イントロダクション
- 第2回 Don't Stop Me Now (Queen)
- 第3回 We Are The Champions (Queen)
- 第4回 Your Song (Elton John)
- 第5回 Can You Feel the Love Tonight (Elton John)
- 第6回 What Makes You Beautiful (One Direction)
- 第7回 One Thing (One Direction)
- 第8回 Story of My Life (One Direction)
- 第9回 Night Changes (One Direction)
- 第10回 授業のまとめ

◆英語講座の対象レベル

主に初級～中級レベルの方を対象とすることを想定しています (上級レベルの方の受講も大歓迎です)。英検準二級～準一級の取得者や TOEIC® L&R の400～750点取得者と比較的幅広く対応させていただきます。

◆自己紹介

洋楽を通じたアクティビティが皆さんの英語学習におけるよい「きっかけ」「気づき」になるように担当者として努力を惜しみません。これから英語を学びたい人、もっと英語の力を伸ばしたい人はぜひ一緒に学びましょう！

スマホの中のリアル英語：「バズ」動画とミームで学ぶ現代の英語とグローバル・トレンド

L13・水曜6限

今井 康貴（10回）

教材：教科書は使わない

①9/30、②10/7、③10/14、④10/21、⑤10/28、⑥11/4、⑦11/11、⑧11/18、⑨11/25、⑩12/2（予備日：未定）

◆講師プロフィール

今井 康貴（イマイ ヤスタカ）
京都大学修士（文学）
名古屋外国語大学講師
英語史、英語学、コーパス言語学

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

スマートフォンを開くと、街頭インタビュー、短いコメディ、印象的な一言、画像と短い文を組み合わせたミームなど、世界中の英語が次々に流れてきます。本講座では、こうしたソーシャルメディア上の短いコンテンツを、単なる娯楽ではなく「生きた英語教材」として活用します。

本講座の到達目標

自然な速さで話される短い英語の要点を、映像や文脈も利用しながら捉えられる。

音の連結、弱化、脱落、リズムなど、聞き取りにくさの主な原因を説明できる。

インタビューやユーモア動画で使われる口語表現、スラング、相づちを理解できる。

多様なアクセントに慣れ、分からない部分があっても聞き続けるための方略を身につける。

ミームやバズ動画の文化的背景を読み解き、スマートフォンを継続的な英語学習に活用できる。

◆講座内容

毎回、話題になった短い動画やミームを取り上げ、音の連結や弱化、言いよどみ、相づち、口語表現、スラングなどを学ぶとともに、なぜその発言が面白いのか、なぜ世界的に共有されたのかという文化的背景も読み解きます。英米のいわゆる標準的な発音だけでなく、さまざまな地域的・言語的背景を持つ話者の英語に触れ、自然な速さの英語を柔軟に聞く力を育てます。最終的には、初めて見る短い動画でも、自分で手掛かりを見つけて理解し、英語学習に生かせるようになることを目指します。

◆英語講座の対象レベル

CEFR A2から B1程度を想定していますが、字幕や書き起こしを活用しながら段階的に学ぶので、英語学習からしばらく離れていた方も楽しめると思います。

中国語 初級（2）

L14・木曜6限

周素芬（10回）

教材：教科書（購入必須） 中国語への道【準中級編】浅きより深きへー ISBN: 978-4-7647-0724-5 2400円（税込）

①9/24、②10/1、③10/8、④10/15、⑤10/22、⑥10/29、⑦11/5、⑧11/12、⑨11/19、⑩11/26（予備日：12/3）

◆講師プロフィール

周素芬（シュウ・ソウフン）
名古屋学院大学大学院経済経営政策専攻修士
名古屋外国語大学中国語講師
中国語（通訳）

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

新しい語彙や文法項目を覚えるよりも自由に操れる能力を身につけることです。どの課も会話文とそれと対をなす短文から構成されているが、特に短文は「暗誦」用に使われることを期待している。

◆講座内容

第1回	第6課	文法のポイント（不定の表現、把の構文）
第2回	第6課	実践練習、会話演習
第3回	第7課	文法のポイント（怎么、オ、为了の表現）
第4回	第7課	実践練習、会話演習
第5回	第8課	文法のポイント（有の兼語文、離合詞）
第6回	第8課	実践練習、会話演習
第7回	第9課	文法のポイント（動作量の表し方、「また」を表す再と又）
第8回	第9課	実践練習、会話演習
第9回	第10課	文法のポイント（「倍」の言い方、存現文）
第10回	第10課	実践練習、会話演習



始めたばかりのイタリア語 初級 (2)

L15・金曜6限

アナスタージャ・ブンドック (10回)

教材：教科書（購入必須） オペラ・プリマ1 ISBN: 978-4-255-55308-5 2640円（税込）
事前に丸善、Amazon等で各自、御購入下さい。 必要とされるもの：筆記用具

①9/25、②10/2、③10/9、④10/16、⑤10/23、⑥10/30、⑦11/6、⑧11/13、⑨11/20、⑩11/27（予備日：12/4）

◆講師プロフィール

Anastazija VUNDUK

(アナスタージャ・ブンドック)

イタリア国立フィレンツェ美術学院(アカデミア) 絵画科、Irene di Spilimbergo 卒
イタリア政府より伝統工芸モザイク画技法のプロ資格を取得。イタリアを代表するモザイク作家 Giulio Candussio 氏に師事し、NYの地下鉄駅グラウンド・ゼロ内に設置されたモザイク壁画等の制作に参加する。

名古屋外国語大学、愛知県立明和高等学校音楽科、南山エクステンション・カレッジに於いてイタリア語講師、中日文化センター栄教室に於いてクロアチア語講師
イタリア語、クロアチア語、イタリア伝統工芸モザイク画技法



◆授業の使用言語

イタリア語と日本語

◆講座の趣旨・目標

Buongiorno! イタリア語を基礎から学ばれたい方が対象の、今年度の春に新教科書でスタートした、今期で2回目の継続クラスです。教材の「オペラ・プリマ1」は、挿絵も美しく、正しいイタリア語と文化を紹介する目的で設立されたイタリア政府機関による編集のものであり、本校の学部生が初級・会話クラスで使用しております。それを基にゆっくりと楽しく、これまでに学ばれた文法事項の復習も随時行い、今期は bar での会話、家事について話す等の会話表現の他、-are 動詞、-ere 動詞、-ire 動詞の規則変化と不規則変化、定冠詞の用法、形容詞の語尾変化、前置詞と冠詞前置詞等を学びます。このクラスは継続クラスですが、今期から通われる方も大歓迎です！又、学部生の方々の学び直しにも最適です。一緒に楽しく学びましょう！A presto!

◆講座内容

- 第1回 教科書の第3課「Salute! 乾杯!」から、バーで食前酒を注文する会話から始まり、様々な飲み物とおつまみの名称も学びます。
- 第2回 ヒアリング問題、動詞 prendere = to take (取る、乗る、注文する、食べる、飲む、迎えに行く)、動詞 essere = to be (〜である、〜に居る) の活用変化、定冠詞「その〜」は、名詞を特定する事を学びます。
- 第3回 形容詞 buono (美味しい、性格や質の良い) から形容詞は、名詞の性と数に合わせて語尾変化する事を学びます。定冠詞の練習問題。
- 第4回 「私は〜を飲みたいです」から何かを注文する場合、動詞 volere = want (〜が欲しい) を直説法・現在の voglio ではなく条件法・現在の vorrei を使い、より丁寧に頼む、語調緩和する事を学びます。動詞 bere = to drink (飲む、酒を飲む) から -ere 動詞の不規則変化を学びます。
- 第5回 「Un caffè e via! とりあえずエスプレッソ!」から朝の習慣について話します。
- 第6回 動詞 dormire = to sleep (眠る) から -ire 動詞の規則変化①について学びます。
- 第7回 家事について話す。動詞 pulire = to clean (磨く、掃除する) から -ire 動詞の規則変化②についてを学びます。
- 第8回 夕方の過ごし方について話す。
- 第9回 非人称動詞 piacere (〜が好き) の用法。
- 第10回 今期のまとめ
- 以上を予定しておりますが、ゆっくりと丁寧に授業を進めます。

◆自己紹介

フィレンツェ・アカデミアの絵画科で学んでいた時、次は直接、色自身を手に取り制作出来たらと思い、モザイク画技法も学びました。そしてイタリアを代表するマエストロ Giulio Candussio 氏に師事し、その工房に於いて修行しました。日本に来てからは、いくつかの小品制作と同時に、名古屋市東区白壁にある名古屋文化学園・文化幼稚園の正面入り口に「出会いと旅立ち、そしてまた新たな出会い」をテーマとする、画面に出入りする四頭の馬をモチーフにしたモザイクの壁画を制作しました。近年では、JA 愛知厚生連・稲沢厚生病院の中庭に、空に昇る大きな葉っぱの形をイメージした4体のモニュメント「アドリア海」「星座」「火山」「麦」を制作しました。当病院のホーム・ページからも、それをご覧になれます。古代ローマ時代、食卓用の大きな木のテーブルの下には、様々な高級食材の食べこぼしとそれを食べるネズミをモチーフにしたモザイク画が敷かれていました。それを見た客人は、その家の豊かさをそこで推し量ったと言われます。Che divertente!

スペイン語 初中級（6）

L16・金曜6限

中川 智彦（10回）

教材：教科書（購入必須） 四宮瑞枝・落合佐枝『アクション！《ライト版2》ステップアップ編』（白水社） ISBN: 978-4-560-09957-5 2640円（税込）
大手書店または出版社のホームページからのネット購入がお勧めです。アプリでも、電子辞書でも、紙媒体でも、西和辞典や和西辞典を入手されることをお勧めします。

①9/25、②10/2、③10/9、④10/16、⑤10/23、⑥10/30、⑦11/6、⑧11/13、⑨11/20、⑩11/27（予備日：12/4）

◆講師プロフィール

中川 智彦（ナカガワ モトヒコ）
筑波大学修士（国際学）
名古屋外国語大学、愛知県立大学、
南山大学ほか非常勤講師
ラテンアメリカ地域研究



◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

新しいテキストで再スタートしてから3期目に当たるクラスです。
これまでに現在・過去・未来、完了時制などの直説法の各時制
と接続法現在まで学習経験があれば、問題なく、どなたでも受
講できます。

発音に慣れていない方でも、聞き取りやすく、しかも、書き間違
いを防ぐための発音練習方法を丁寧に指導しますので、すぐに、
自信をつけて頂けると思います。

今期は、現在完了と未来・過去未来を重点的に復習していきま
すので、過去形が完璧に覚えられていない方や、久しぶりにス
페인語を学んでみたい方も、気楽に参加できると思います。

◆講座内容

- 第1回 自己紹介＋これまでの復習
- 第2回 6課：スキットとボキャブラリー確認＋ロールプレイ
- 第3回 6課：過去分詞と現在完了＋基本練習（1）
- 第4回 6課：感嘆文＋基本練習（2）＋応用練習（1）
- 第5回 6課：応用練習（2）
- 第6回 7課：スキットとボキャブラリー確認＋ロールプレイ
- 第7回 7課：直説法未来と用法＋基本練習（1）
- 第8回 7課：直説法過去未来と時制の一致＋基本練習（2）
＋応用練習（1）
- 第9回 7課：応用練習（2）、
発展練習2（1）スペイン語圏の文化
- 第10回 発展練習2（2）「読んでみよう」「もっと学ぼう」
毎回ラテン音楽のヒアリングの時間を持つ予定。
全10回でこの範囲を学習する予定ですが、余裕を持たせてあり
ますので、皆さんの要望に応じて、臨機応変に進めていきます。

◆自己紹介

中川智彦 Nakagawa Motohiko。南山大学外国語学部イスパニヤ
科出身。筑波大学大学院在学中に、チリ大学国際問題研究所へ
特別交換プログラムで約10か月間留学経験あり。現在は、名古
屋外国語大学のほか、愛知県立大学・南山大学などで非常勤講
師の傍ら、在米エルサルバドル系移民に関する共同研究参加中。
少林寺拳法四段。スペイン語にまつわる趣味としては、サルサ
等ラテン音楽鑑賞。



ウクライナ語 入門 (2)

L17・土曜2限

Tetyana SAYENKO (10回)

教材：教科書（購入必須） つばさ君のウクライナ語 ISBN: 978-4-560-08872-2 3300円（税込）
<https://www.hakusuisha.co.jp/book/b508434.html> 必要とされるもの：筆記用具、ノート

①9/26、②10/3、③10/10、④10/17、⑤10/24、⑥10/31、⑦11/7、⑧11/14、⑨11/21、⑩11/28（予備日：12/5）

◆講師プロフィール

Tetyana SAYENKO
 (テチヤナ・サイエンコ)
 Doctor (PhD in English Linguistics),
 Kyiv National Linguistic University, Kyiv,
 Ukraine
 Lecturer, Nanzan University, Nagoya,
 Japan
 General and English Linguistics,
 Ukrainian-English Translation, Intensive
 Methods of Teaching Ukrainian and English



◆授業の使用言語

Ukrainian

◆講座の趣旨・目標

本コースの主な目的は、ウクライナ語話者と円滑にコミュニケーションをとるために必要な読解力と会話力をさらに高めることです。また、たとえ語学力が十分でなくても、ウクライナ語が使われる環境に素早く適応し、うまく立ち回れるようサポートを行います。授業は日本語ではなくウクライナ語での会話練習を中心に進めますが、語彙、文法、発音といった言語的要素については、すべて日本語の訳や解説を交えて指導します。ウクライナの詩や歌を授業に取り入れることで、自然なウクライナ語の会話力を養います。さらに、授業で行った会話練習の音声はオンラインで利用可能となり、発音の復習や自宅学習に役立てることができます。この集中コースを修了する頃には、ウクライナ語の読み・書き・会話の基礎的なスキルを習得していることが期待されます。

◆講座内容

- 第1回 自己紹介・挨拶／動詞（現在形）
テーマ：日常会話
- 第2回 動詞（過去形）
テーマ：過去の出来事について話す
- 第3回 時間と場所／動詞（過去形）
テーマ：ウクライナの民話を読む
- 第4回 動詞（未来形）
テーマ：健康について話す（薬局での会話、民間療法など）
- 第5回 動詞（現在・過去・未来形）
テーマ：買い物、贈り物、ウクライナのお土産
- 第6回 名詞の格変化
テーマ：食べ物と飲み物、レストランでの会話、家庭料理
- 第7回 時間と場所、副詞
テーマ：ウクライナ訪問、キエフ（キーウ）、ウクライナの歌
- 第8回 形容詞と名詞、格語尾
テーマ：ウクライナの歌と詩
- 第9回 重文・複文
テーマ：お祝い、グリーティングカード、休暇の計画
- 第10回 最終発表
テーマ：ウクライナの詩の朗読、短いスピーチ、コースの総括

◆自己紹介

受講生の皆さんへ

こんにちは。ウクライナ出身の大学教授、テチヤナ・サイエンコです。私は長年にわたり、タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学やキエフ国立言語大学などの教育機関で、英語やウクライナ語の講座を担当してきました。また、米国ペンシルベニア州立大学で「ウクライナ語入門（集中コース）」や「ウクライナ語・英語翻訳」を教えた経験もあります。

この集中コースは、外国語学習への自信を深め、確かな基礎を築くための素晴らしい機会です。コース終了時には、ウクライナ語で基本的な読み書きや会話ができるようになることを目標としています。

このコースを存分に楽しんでいただければ幸いです！

歌と詩でよむ「ロシア」の世界—よんで、うたって、深めよう

L18・土曜2限

杉山 真央 (10回)

教材：教科書は使わない

①9/26、②10/3、③10/10、④10/17、⑤10/24、⑥10/31、⑦11/7、⑧11/14、⑨11/21、⑩11/28 (予備日：12/5)

◆講師プロフィール

杉山 真央 (スギヤマ マオ)
大阪大学 博士 (言語文化)
名古屋外国語大学 講師
詩的表現、演説・新聞における言説分析、文体論

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

「人生は旅」と言うように、道や旅をうたう歌は世界中にあります。では、ロシアの歌はその「道」をどう描いてきたのでしょうか。本講座では、毎回ひとつのロシア語の鍵語——дом〈家〉、дорога〈道〉、тоска〈やるせなさ〉、память〈記憶〉…——を手がかりに、ソビエト時代と現代の歌や詩を一對にして読み比べます。同じことばが時代とともに意味を変えていくさまを、比喻や情景に目を凝らしながらたどり、毎回一語ずつ「ことばの地図」に書き加えていきます。全10回を終えたとき、その地図がどんな「ロシア」の像を結ぶのか——それを確かめるのも、この講座の楽しみのひとつです。読み解くのは“ロシアそのもの”ではなく、歌とことばが映し出す「ロシア」という像。歌詞にはすべて日本語訳と読み仮名を添えますので、まずは日本語で情景を味わい、慣れてきたら原文の音へ、それぞれのペースで踏み込んでいただけます。各回完結型のため、どの回からでもご参加いただけます。

◆講座内容

- 第1回 歌を読むと、何が見えてくるのか
・「人生は旅」—— 日常にひそむ比喻をさがす
・よく知られたロシアの歌で「歌を読む」練習
- 第2回 祖国は、愛するものか、憎むものか (дом・родина)
・約30年を隔てて歌われた二つの「祖国」の歌を読み比べる
- 第3回 なぜロシアの歌は、これほど「道」を歌うのか (дорога・путь)
・国境を越えて歌い継がれたロマンスと、戦場の道の歌
- 第4回 訳せないтоскаとは、どんな心か (тоска)
・約100年前の亡命詩人の詩と、現代のバンドの歌をつなぐ
- 第5回 「変化を！」と願う歌は、誰のものになるのか (воля・перемены)
・ベレストロイカ期の若者の合言葉と、その後の歌の旅
- 第6回 過ぎたものは、どこへ行くのか (время・память)
・病室の情景を描いた詩と、「生きる」ことを歌う現代の名曲
- 第7回 「好き」は、いくつの言い方を持つのか (любовь)
・1960年代の名曲と現代ロックの、愛のことばを聴き比べる
- 第8回 白樺と雪は、何を歌っているのか (природа)
・風景がそのまま心情になる、ロシア詩の得意技を読む
- 第9回 人々はなぜ、亡き詩人を現在形で語るのか (слово)
・歌は、作者の手を離れてどこへ行くのか
- 第10回 総まとめ：私たちは、どんな「ロシア」を描いたのか
・全員で育てた「ことばの地図」を眺め、問い直す

◆自己紹介

ロシアの詩とことばを研究しています。とりわけ、約100年前に中国・ハルビンへ渡ったロシアの詩人たちが、遠い故郷への想いと、異郷をともに生きる人びとの姿を、どう歌に刻んだのかを追いつけています。歌や詩は、辞書には載らない「ことばの表情」の宝庫です。春期の「きほんのロシア語：ことばと文化」に続き、今期は歌と詩をじっくり読む講座をお届けします。ロシア語がはじめての方も、続けて学んでくださっている方も、一緒に「ことばの地図」を描いてみませんか。



ポルトガル語への第一歩②：ブラジル文化をことばで感じる

L19・土曜2限

Patrícia Dias Hadama (10回)

教材：教科書は使わない

①9/26、②10/3、③10/10、④10/17、⑤10/24、⑥10/31、⑦11/7、⑧11/14、⑨11/21、⑩11/28 (予備日：12/5)

◆講師プロフィール

Patrícia Dias Hadama

(ジマス・ハダマ・パトリシア)

【学位】修士 (ポルトガル語研究)

専攻：ポルトガル語研究

機関：ポルトガル公開大学

(Universidade Aberta de Portugal, UAb)

所在地：ポルトガル

【学位】学士 (ポルトガル語・英語教育)

専攻：ポルトガル語・英語教員養成課程

機関：パウリスタ大学 (Universidade Paulista)

所在地：ブラジル・サンパウロ

【大学院専門課程】大学教員養成

専攻：大学教員養成・高等教育教授法

機関：パウリスタ大学 (Universidade Paulista)

所在地：ブラジル・サンパウロ

【大学院専門課程】ブラジル文化・文学

専攻：ブラジル文化・文学研究

機関：ラバ教育大学 (Universidade de Educação de Lapa)

所在地：ブラジル・リオデジャネイロ

【大学院専門課程】ポルトガル語教授法

専攻：ポルトガル語教授法

機関：ラバ教育大学 (Universidade de Educação de Lapa)

所在地：ブラジル・リオデジャネイロ

南山大学 非常勤講師

中部大学 非常勤講師

名古屋外国語大学 非常勤講師

愛知県立大学 非常勤講師

パウリスタ大学 指導員

ブラジル・ポルトガル語、ブラジル文化、ブラジル文学、

ブラジル・ポルトガル語教育の方法論

◆授業の使用言語

日本語／英語／ポルトガル語

◆講座の趣旨・目標

本講座は、ブラジル・ポルトガル語を初めて学ぶ方はもちろん、基礎をお持ちの方や、春期講座を受講された方にもご参加いただける講座です。一人ひとりの学習経験やレベルに合わせて授業を進めますので、どなたでも安心してご参加いただけます。

本講座では、それぞれのレベルに応じて、楽しみながらブラジル・ポルトガル語を身につけることを目指します。対話を中心とした実践的な学習を通して、発音、あいさつ、日常生活で役立つ表現などを、わかりやすく学んでいきます。

また、毎回の授業では、言語だけでなく、ブラジル文化についても取り上げます。明るく親しみやすい雰囲気の中で、ブラジルのことばと文化に触れながら、一緒に楽しく学びを深めていきましょう。



◆講座内容

第1回 自己紹介・あいさつ・動詞 ser

第2回 ポルトガル語文法の基礎

第3回 日常生活に役立つ質問と表現

第4回 規則動詞の現在形

第5回 不規則動詞の現在形

第6回 これまでの復習と実践練習

第7回 語彙の拡充

第8回 動詞の過去形

第9回 動詞の未来形

第10回 総復習と総合練習

◆自己紹介

ブラジル・リオデジャネイロ出身です。

専門分野は、ポルトガル語、ブラジル文化、ブラジル文学です。大学では、ポルトガル語と言語文化を、楽しく分かりやすい授業となるよう工夫しながら教えています。

学生一人ひとりの興味や学習目的に寄り添い、より深く学べる環境づくりを大切にしています。

Improving Intercultural Communication Skills in English (Part 2)

L20・土曜2限

宇治谷 映子（10回）

教材：教科書は使わない

①9/26、②10/3、③10/10、④10/17、⑤10/24、⑥10/31、⑦11/7、⑧11/14、⑨11/21、⑩11/28（予備日：12/5）

◆講師プロフィール

宇治谷 映子（ウジタニ エイコ）
Doctor of Education, Murdoch University
Professor Emeritus, Nagoya University of Foreign Studies
Intercultural Communication, Language Education

◆授業の使用言語

英語

◆講座の趣旨・目標

What is Intercultural Communication? Many Japanese people think that intercultural communication simply means communicating in English. In fact, it is about communicating effectively with people who have different values, occupations, genders, or belong to different generations.

In this course, you will explore the fundamentals of intercultural communication through a variety of engaging activities. You will also learn practical communication skills that you can use in your daily life with family members, friends, colleagues, and supervisors.

This course is also suitable for students who have not taken my classes before, as we explore a different topic each semester.

◆講座内容

1. What is Culture?
2. Two-Way Communication
3. Communication Styles
4. Active Listening
5. Observing People and Culture
6. Conflict Resolution
7. Self-Disclosure
8. Majority and Minority
9. Privilege and Inclusion
10. Group Presentations

◆英語講座の対象レベル

Anybody who is willing to participate in group discussions in English.



Mastering English through communicative tasks

L21・土曜2限

Misaka Gabriel (10回)

教材：教科書は使わない

①9/26、②10/3、③10/10、④10/17、⑤10/24、⑥10/31、⑦11/7、⑧11/14、⑨11/21、⑩11/28 (予備日：12/5)

◆講師プロフィール

Misaka Gabriel (ミサカ・ガブリエル)
Master (TESOL), Nagoya University of
Foreign Studies
Full-Time Lecturer, Nagoya University of
Foreign Studies
Communicative Language Teaching
(CLT), Input Processing (IP), Conversation
Analysis (CA)



◆授業の使用言語 英語

◆講座の趣旨・目標

This course aims to help students master the basics of English through communicative activities based on modern research on how the brain processes language. The course is designed to be student-centered, and most tasks will require pair or group interaction. Most students in Japan have studied English grammar, but this course aims to help students develop an internalized understanding of the language. This course will focus on the future tense and its many uses that most students have not learned in school. It is aimed at beginner to early-intermediate students. However, advanced students are also welcome to participate.

◆講座内容

- Class 1: Orientation and self-introductions using the future simple. (I will study English.)
- Class 2: Plan a party for a group of picky people. (She won't like a noisy restaurant.)
- Class 3: Role-play a fortune teller and answer your partner's questions about their future. (How will I meet my future wife?)
- Class 4: Practice inviting your classmates to your favorite events. (Won't you come to the party?)
- Class 5: Be prepared to change your plans depending on the situation. (If the weather is nice, I will join the party.)
- Class 6: Role-play a travel agent and design the perfect trip for your teacher. (You are going to love Korea.)
- Class 7: Create a quiz to share your future dream with your partners. (I am not going to drink soda.)
- Class 8: Role-play a concerned parent and check your children's plans. (What time are you coming home?)
- Class 9: Explaining your plans through infinitives (I will work hard to help my family.)
- Class 10: Setting a goal for the future through wants and needs. (I want to get rich, so I need to win the lottery.)

◆英語講座の対象レベル

This course is most suitable for beginners or intermediate students. However, advanced students interested in communicating are also welcome.

It is designed for students who have studied English but do not feel comfortable communicating in English. Students will be expected to communicate in English throughout the lessons. However, they are not expected to speak in perfect English. Students' communication and grammatical skills will grow throughout the course.

◆自己紹介

Although I look Japanese, I was born in Brazil and moved to Canada at 15. There, I learned English and French. Therefore, I understand the challenges of learning and mastering a second language. My focus is on improving language education and communication skills. Over the last few years, I have competed in presentation skills and have trained many speakers to reach national levels of competition. I love teaching and look forward to meeting many new students.

タイ語 初中級 (2)

L22・土曜2限

寺田 ダラポン (10回)

教材：参考書（購入必須ではない） 三上直光「タイ語の基礎」白水社 ISBN: 978-4560-086-742 3520円（税込）

①9/26、②10/3、③10/10、④10/17、⑤10/24、⑥10/31、⑦11/7、⑧11/14、⑨11/21、⑩11/28（予備日：未定）

◆講師プロフィール

寺田 ダラポン（テラダ ダラポン）
名古屋外国語大学（タイ語・非常講師）
愛知大学（タイ語・非常講師）
教育・数学



◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

タイ語で自分の気持ちを伝えることができる授業です。タイの小学校の教科書を使ってタイ文字を学ぶ。タイ文字を読む自信を持っている。ネイティブ講師による、文法中心・単語・発音しっかり学ぶ、スムーズに日常会話を習得できる。タイ語検定試験3級を合格ができるように指導します。

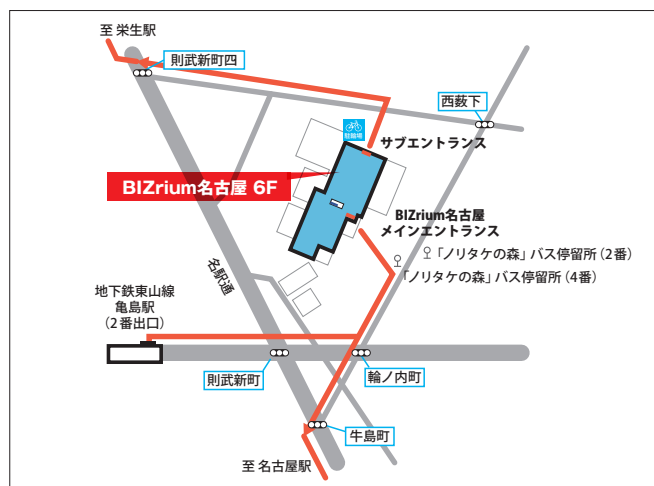
◆講座内容

- 第1回 この部屋にはさすが3脚あります。
- 第2回 今年の試験の結果と前の年のとは同じくらいよい。
- 第3回 日本の人口はタイの人口より2倍多い。
- 第4回 明日私は運転免許証が手に入ります。
- 第5回 彼は両親に手紙を書いているところです。
- 第6回 土・日は勉強しなくてもかまいません。
- 第7回 彼女のタイ語の発音はとてもいい。彼女は外国人ではないだろう。
- 第8回 この濃い青色のスーツは彼によく似合う。
- 第9回 昨夜は寝不足だったので、今日は眠い。
- 第10回 昼食、私はパンかラーメンを食べることにします。

◆自己紹介

タイの大学（教育・数学）を卒業し、5年間 The University of The Philippines (Diliman) に留学、その時 America Airforce にタイ語の講師を務めました。33年前（1993年）に、日本へ来ました。2001年から三重県、2025年から愛知県、法律・タイ語通訳人に務めています。

イオンモール店内から名駅キャンパス（オフィスビル：BIZrium名古屋 6 階）へは行けませんので、
こちらの写真にある BIZrium名古屋のエントランスからご入館ください。



名古屋外国語大学 名駅キャンパス(サテライト) BIZrium名古屋 6F

(イオンモールNagoya Noritake Garden併設)

〒451-0051 愛知県名古屋市西区則武新町3丁目1番17号 BIZrium名古屋6F

JR 名古屋駅から徒歩12分、地下鉄東山線 亀島駅から徒歩6分

名鉄名古屋本線 栄生駅から徒歩10分

名古屋市営バス・なごや観光ルートバス(メーグル)「ノリタケの森」下車(名古屋駅バスターミナル(6番のりば)から乗車時間約4分)